



豊玉二中だより

令和7年度 第8号
発行日 12月3日(水)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 大野 雄一郎

地域に生きる～ボランティア活動と地域貢献

校長 大野雄一郎

早いもので、秋はあっという間に終わり、12月になりました。朝晩はかなり冷え込む日が多くなりましたが、体調を崩していないでしょうか。今年はインフルエンザの流行が例年に比べて早いといわれていますが、本校でも11月前半の3連休を前に学級閉鎖がありました。その後も、インフルエンザにかかった生徒はいますが、少数で推移しています。このまま「換気」「手洗い」「うがい」「黙食」などを徹底して、残り少ない2学期を乗り切りたいと考えています。ご家庭でも感染対策にご協力ください。

さて、本校の学区域では、主に町会が中心ですが地域行事が盛んです。町会ごとのお祭りや各学校ごとに実施される防災拠点訓練、それに小学校の夏祭りやクリスマスイベント、餅つき大会などもあります。12月6日の中学生意見発表大会も、地域行事の1つといってよいでしょう。それぞれ中心となる主催団体は違いますが、どれも地域の人たち同士の親睦を深めたり、より地域を知ってもらおうと行われています。そして、最近では本校に地域行事のボランティアの案内が来るようになり、参加する生徒も増えつつあり、地域貢献につながっています。それでは、ボランティア活動には、どのような意味があるのでしょうか。

- ①社会性の育成: 異なる世代や背景を持つ人々と交流することで、コミュニケーション能力や協調性が育まれます。
- ②自己肯定感の向上: 自分の行動が誰かの役に立ったという実感が、自己肯定感を高め、責任感を養います。
- ③地域の理解: 地域が抱える課題や歴史、文化を肌で感じることで、郷土愛と主体的に行動する力を育みます。

このようにボランティア活動を通して、地域貢献とともに身につく力があります。積極的にボランティア活動に参加するのが望ましいですが、まだ一步が踏み出せない人は、地域行事に参加することから始めてみましょう。

保護者や地域の皆様におかれましては、2学期も本校の教育に対して、ご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。3学期もよろしくお願ひいたします。